

日光街道第四宿から 薄紫色の花だより



こんにちは、あずまです。今月は『春日部駅』にやってきました。春日部は花の街でもあります。サクラ・ハクモクレンのあとには、この約1kmも続くふじ通りのフジ相が、紫色の輝きを見せます。西口駅前広場のフジも見事です。(MAPの④)

今回の登場人物



松原早苗

あずまの短大時代からの友人。海外旅行と料理が趣味。



栗橋友子

あずまの短大時代からの友人。越谷市に暮らす保育士。



業平あずま

業平家の長女。母親が経営する小・中学生向け英会話教室を手伝う。趣味は旅行。



東武スカイツリーラインで北千住から急行で約30分『春日部駅』に到着。野田線への乗り換え駅でもあります。まずは東口から、そぞろ歩きます。

春日部

(かすかべ)

江戸時代には日光街道第四の宿場として栄えた「粕壁」。町村合併を重ねて「春日部」となりました。市の中心は春日部駅周辺。昔の宿場町の面影を残しながら、開放感あふれるモダンな街並が広がっています。そんな春日部の市花はフジ。「牛島の藤」が有名ですが、春日部駅近くにも見事なフジの名所があります。4月下旬、春日部は薄紫色に彩られます。



ここは真言宗のお寺「叡勝院」。鎌倉末期～南北朝時代の武将、春日部重行公の墓と伝えられる墳丘があります。境内は広く、明治時代には小学校が開設され、大相撲の巡業やサーカスの興業まで行われたそうです。(MAPの◎)



ここは春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」。クレヨンしんちゃん展示コーナーもありました。観光やグルメ情報などをゲットするのに便利。電動アシスト付きのレンタルサイクルもありました。(MAPの③)



橋を渡って「かすかべ山喜」というお蕎麦屋さんへ行き、名物の藤うどんをいただきました。埼玉県産小麦「あやひかり」に、アサムラサキ玉の粉を糸練り込んで、藤色を出したそうです。(MAPの⑤)



大落古利根川に架かる「古利根公園橋」は、全国でも珍しい橋上公園です。千住馬車鉄道を描いた千馬車のレリーフは見もの。明治時代に千住茶釜橋から、先ほど訪れた叡勝院を3時間で結んでいたそうです！(MAPの④)

宿場の面影残す街並と 大落古利根川の流れ

春日部駅の東口に出ると駅前広場のブロンズ像「心の橋」が目に入ります。春日部といえど「彫刻のあるまちづくり」。街角にはさまざまなブロンズ像がさりげなく佇み、道行く人を楽しませてくれます。

まず立ち寄ったのは春日部情報発信館「ぷらっとかすかべ」。観光のガイド資料を揃えて、いろいろな情報を提供してくれます。またここでは電動アシスト付き自転車をレンタルできます(18歳以上)。街歩き頼もしいナビゲーターです。

現在の春日部大通りが旧日光街道で、粕壁宿の中心でした。現在は高層建築が並ぶ商業地ですが、ここかしこ昔ながらの白壁の土蔵が現役で使われており、江戸時代の石道標も残されています。

春日部大通りのはずれには叡勝院。ここには南北朝時代に活躍した武将・春日部重行を葬ったものといわれる墳丘があります。

旧宿場の北側には大落古利根川の流れ。「古利根公園橋」は、なんと橋全体が公園になっており、水鳥が泳ぐ川面を眺めながらのんびりできます。

川に沿って下流へ進むと、推定樹齢六百年という礎神社のイヌグス。南方系の珍しい樹木で、江戸時代には大落古利根川を通る舟が粕壁宿の河岸を探す目印にしていたそうです。さらに下流へ歩いていくと、サクラ並木の遊歩道が続きます。

粕壁宿について詳しく学ぶなら、春日部市郷土資料館へ。ここには江戸末期の粕壁宿を1/200のジオラマにして常設展示。現在の街並と比べられる工夫がなされています。



大落古利根川沿いのサクラ並木も見事。さらに下流へ進めば、「牛島の藤」と続きます。江戸時代初め、利根川の流路は東京湾から太平洋に注ぐよう付け替え工事が行われました。古利根川はそれ以前の流路なんです。(MAPのG)



樹齢600年以上と推定される「礎神社のイヌクス」です。埼玉県の指定天然記念物にもなっています。南方系の木で、この神社にあるものが生育の北限だとか。江戸時代は古利根川を航行する舟の目印にもなったそうです。(MAPのF)



ここは春日部市商工振興センター「アクシス春日部」。名産の押絵羽子板・桐箆笥・桐小箱・麦わら帽などが展示されています。藤うどんもありました。桐製のはがきや、らき☆すた桐箱なんていうものも。(MAPのI)



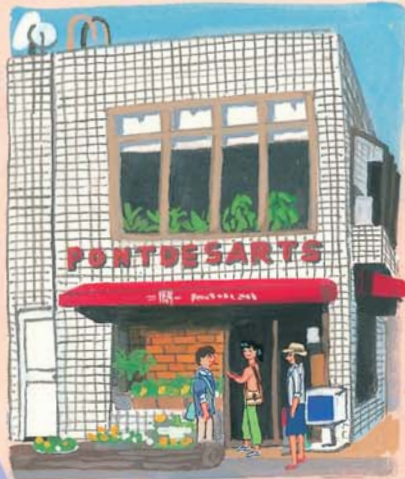
「春日部市郷土資料館」にやってきました。日光道中4番目の宿場町だった粕壁宿の、江戸末期を想定したジオラマは見事でした。入館してすぐに目に入る、縄文時代中期の堅穴式住居を復元した模型も見もの。(MAPのH)

4月の春日部は藤まつりと ブロンズ通りフェスティバル

春日部の伝統工芸といえば桐小箱や絵桐箆笥。江戸時代の初め、日光東照宮造営のために全国各地から集まった指物職人たちが粕壁宿に定住して作ったのが始まりだといわれています。良質な桐の産地であることから、押絵羽子板もまた春日部の伝統工芸品。これらを一堂に展示しているのが、春日部市商工振興センター「アクシス春日部」です。では地下歩道を通して春日部駅東口から西口へ。駅前には、イチヨウとマツが根元で合体し、地上1mから上は分岐して別々に生育している、珍しい「夫婦松」というものがありました。

そしてフジ。春日部駅西口からまっすぐ伸びるのは、その名も「ふじ通り」です。この通りの両歩道には約1キロにわたってフジ棚が架けられ、毎年4月の下旬には紫色や白、ピンクに光り輝く花房が咲き誇るのです。歩いてても歩いてもまだまだ続く花の天井。4月29日には、この通りを歩行者天国にして多くの模擬店が並び、パレードなどで賑わう「藤まつり」が開催されます。

フジの街・春日部から面白い食品も生まれています。B級グルメ「春日部やきそば」はフジをイメージしたシンふりかけをトッピング。また、アマラサイキモの粉を混ぜて練り上げた「藤うどん」も、鮮やかな色と食感が人気を集めています。4月の春日部ではもうひとつお祭りがあります。藤まつりと同じ、4月29日に開催される「ブロンズ通りフェスティバル」。東口のブロンズ通りを会場に、リサイクルマーケット、クレヨンしんちゃんキャラクターショーなどが行われます。



パンとケーキのお店「ポンデ・ザール」で一休み。1階で商品を買ひ、2階で食ふことができます。ロールケーキ(550円)や、一番人気のミルクフランス(180円)というパンを紅茶と一緒にいただきました。
(MAPの㉑)



春日部データファイル
 〈春日部藤まつり〉・・・●期間＝4月29日(日)10:30～16:00 *雨天延期4月30日(月・休) ●会場＝春日部駅西口ふじ通り ●春日部市市民活動センター「ばばら春日部」 ☎048-731-3550
 〈ブロンズ通りフェスティバル〉・・・●開催日＝4月29日(日)10:00～15:00 *雨天延期4月30日(月・休) ●会場＝東口ブロンズ通り ※リサイクルマーケット、地元商店会の特売、クレヨンしんちゃんキャラクターショーなど。 ●ブロンズ通りフェスティバル実行委員会 ☎090-7015-7162
 〈春日部情報発信館「ぶらっとかすかべ」〉・・・●交通＝春日部駅東口徒歩3分 ●開館時間＝9:00～16:30 ●休館日＝月曜(祝日の場合は翌日以降の平日)、12/29～1/3 ●レンタルサイクル(電動アシスト付き)＝9:00～16:00、3時間未満300円・3時間以上500円 ※18歳以上利用可・要身分証明書 ☎048-752-9090
 〈春日部市郷土資料館〉・・・●春日部駅東口徒歩10分 ●開館時間＝9:00～16:45 ●休館日＝月曜(祝日の場合は翌火曜も休み)、祝日、年末年始 ●入館料＝無料 ☎048-763-2455
 〈春日部市商工振興センター「アクシス春日部」〉・・・●交通＝春日部駅東口徒歩7分 ●開館時間(1階展示場)＝8:30～17:00 ●休館日＝年末年始 ●入館＝無料 ☎048-761-3181
 〈かすかべ山喜〉・・・●交通＝春日部駅東口徒歩8分 ●営業時間＝11:00～15:00 / 17:00～20:30(日曜・祝日は休憩なし)、月曜は～14:00 ●定休日＝火曜 ☎048-752-1373
 〈ポンデ・ザール〉・・・●交通＝春日部駅東口徒歩5分 ●営業時間＝8:00～20:00 ●定休日＝なし(年始のみ休み) ☎048-754-6526